

Lecture 授業No.85 教科書P.141～

T.Q.「英で責任内閣制が成立した事情
とは何か？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.141・142

T.Q. 「英で責任内閣制が成立した事情とは何か？」

1. [メアリ2世](#)
2. [権利の章典](#)
3. [名誉革命](#)
4. [ジョージ1世](#)
5. [ウォルポール](#)
6. [参政権](#)

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. クロムウェル時代への反発で王政復古
2. 名誉革命で市民社会が確立
3. ハノーヴァー朝と責任内閣制の誕生

(4) 名誉革命 T.Q.「英で責任内閣制が成立した事情とは何か？」教科書P.141～

1 **チャールズ2世**__亡命先の仏から帰国し**王政復古**(1660)
→カトリック復活 ※1

∴議会は王に対抗。**審査法**(1673)と**人身保護法**(79)制定
官僚になれるのは国教徒に限る 不法に逮捕されない

2 **ジェームズ2世**

∴**名誉革命**(1688～89)で 仏に亡命

...長女の**メアリ**と夫の**ウィリアム**が**権利の宣言**を承認し即位
オランダ総督で英王を兼任 ※2

注:直前までオランダと戦争中 but 「共通の敵」フランスに
対抗して英とオランダが
結びつく! ※3

3 **メアリ2世・ウィリアム3世**

→**権利の章典**(1689)...行政・立法・司法に議会の承認必要

∴**憲法が近代化** ※4

1/2枚目のスライドはここまで!

→ **権利の章典** (1689) ... 行政・立法・司法に議会の承認必要

∴ 憲法が近代化

——— ここから

(5) 議会の近代化 T.Q.「英で責任内閣制が成立した事情とは何か？」

教科書P.141～

1 政党政治スタート

- { **トーリー党** (→ 今の保守党) ... 王権中心
- { **ホイッグ党** (→ 19Cの自由党) ... 議会中心

2 **アン** __ 1707、**大ブリテン王国** 成立 ∴ スコットランド併合

3 **ハノーヴァー朝** (1714～今も)

※5

ジョージ1世 __ 初代。ドイツ人 ※6

∴ **責任内閣制** スタート (ホイッグ党 **ウォルポール** 首相)

... 内閣は王でなく議会 (← 国民の代表) に責任を負う

cf. King reins but does not rule.

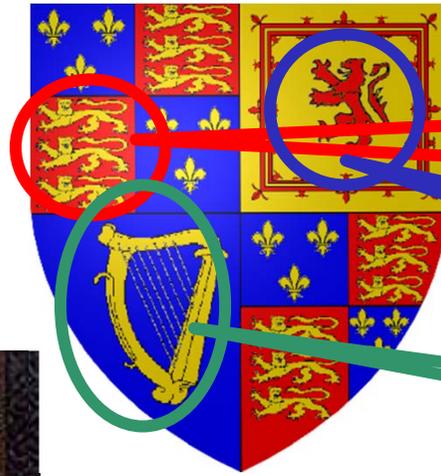
(「王は君臨すれども統治せず」)

※T. A. まとめスライドへ

but 参政権はまだ不十分 (貴族や地主のみ)

最後のスライドはここまで!

※1



クリック①:

イングランド(イギリス)の
獅子の紋章

クリック②:

スコットランドの獅子の紋章

クリック③:

アイルランドの豎琴の紋章

チャールズ2世

王政復古の時代(ステュアート朝
後半)の**イングランド、スコットラ
ンド、アイルランドの王。**

その治世中に、
第2次・第3次イギリス=オランダ戦争
が勃発した。

※2



クリックで、「**権利の宣言**」

⬅️**権利の宣言を受け取る
ウィリアム3世とメアリ
2世** 1689年、2人は議会在が提
出した**権利の宣言**を承認。異例
の**共同統治**をとった。 (着色)

南ネーデルラント継承戦争(1667~68)

■原因 スペイン領ネーデルラントの領有権主張

イギリス
オランダ
スウェーデン

◆結果 アーヘン和約(1668)
●フランドルの一部の都市を獲得

ファルツ(継承)戦争(1688~97)

■原因 ファルツ選帝侯領の継承権を主張
アウクスブルク同盟

イギリス
スペイン
独皇帝・諸侯
オランダ
スウェーデン

◆結果 ライスウィック条約(1697)
●ローヌ地方を失う
●ウィリアム3世をイギリス王として承認

オランダ(侵略)戦争(1672~78)

■原因 南ネーデルラント継承戦争の報復

イギリス
イギリス
1674年, 単独講和を結び, オランダ側につく

フランス
オランダ
独皇帝・諸侯
スウェーデン
スペイン

◆結果 ナイメーヘン和約(1678)
●フランシュコンテとフランドルの一部獲得

クリック①: ほぼ**孤立したフランス(ルイ14世)**に注目
 クリック②: **名誉革命の時代のイギリスとオランダの結びつき**に注目

※4

クリック①・②: 「**権利の章典**」以外の、
イギリス憲法を構成する三大文書の二つに注目

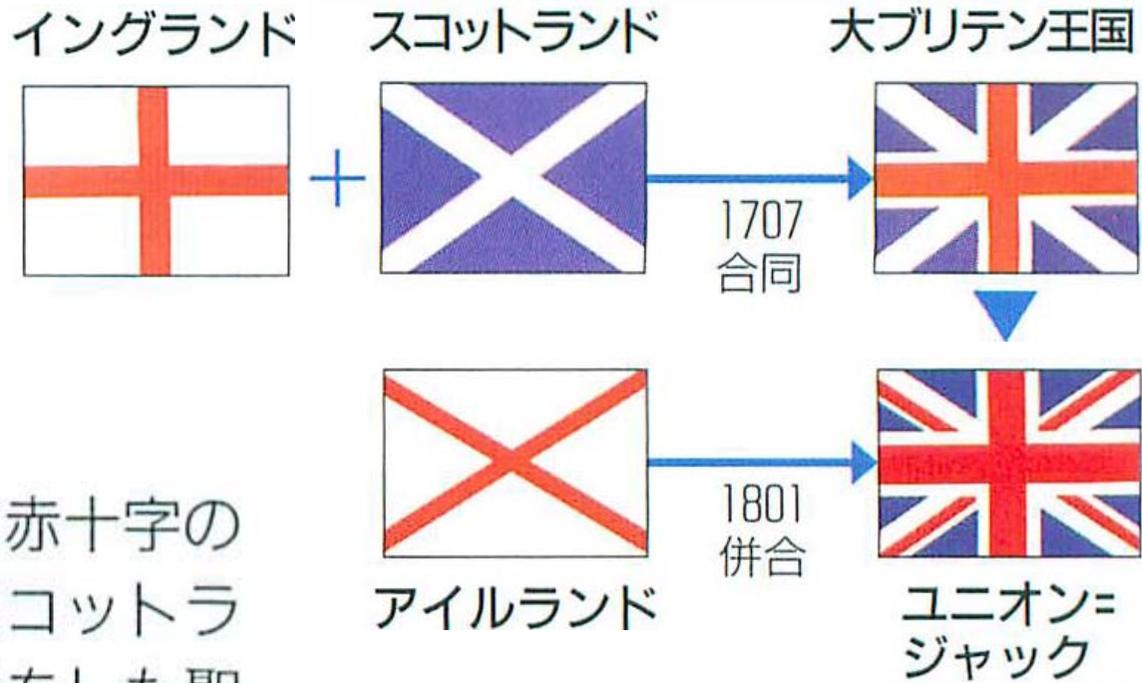
—— 権利の章典 ——

議会の承認なしに国王が法律を停止したり，課税を行ったり，常備軍を徴集したりすることなどを違法とした。権利の章典は**大憲章**(**👉P.118**) **権利の請願**とともにイギリス憲政の基本法となり，ここにエリザベス1世時代以来の国王と議会の対立に終止符が打たれ，**議会制定法の支配する立憲王政が確立された。** **👉P.325史料**

※5

クリック①～③

イングランドは白地に赤十字の聖ジョージ十字旗，スコットランドは青地に白のX形をした聖アンドリュー十字旗，アイルランドは白地に赤のX形をした聖パトリック十字旗といい，これらが組み合わさって，1801年に現在のイギリス国旗(ユニオン=ジャック)ができた。



ユニオン = ジャック

イギリス国旗の由来

Union = 結合・連合
Jack = 国籍を示す船首旗

※6

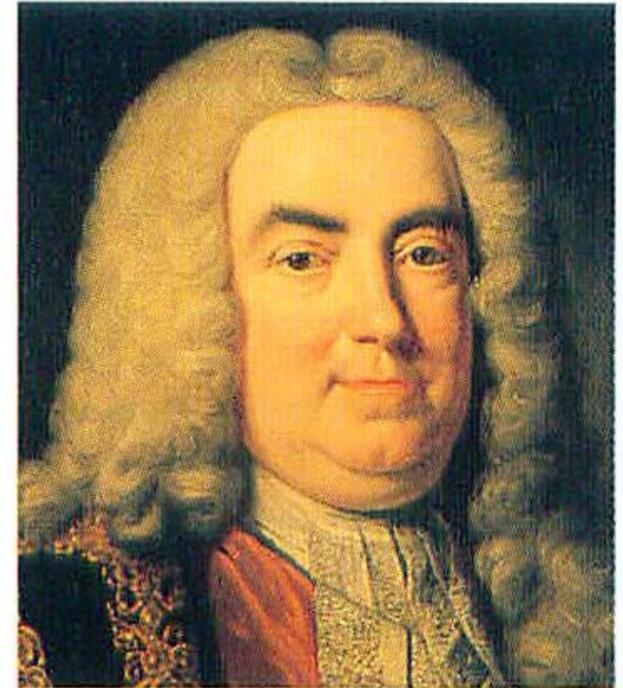
クリック①: 英語が分からない英王**ジョージ1世**

クリック②: **責任内閣制**を始めた首相**ウォルポール**



ジョージ1世 1714年のアン女王の死によりステュアート朝が断絶したため、ドイツのハノーヴァー選帝侯がジョージ1世として王位についた。彼は英語を解せず、政務を大臣に委ねたため、ウォルポールが長期にわたって首相をつとめ、責任内閣制のもとを開いた。

↓ **ウォルポール**



授業No.85

T.Q.「英で責任内閣制が成立した事情とは何か？」

ハノーヴァー朝を開いたジョージ1世はドイツ人で英語が分からず、政務を大臣に頼っていた。これをきっかけにホイッグ党のウォルポール首相が「王は君臨すれども統治せず」と後に言われるような責任内閣制を成立させた。ただし、まだ参政権は一部の財産家（ジェントリや貴族）に限られていた。